

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 後期 第8回)のご案内

ダイジェスト版 巨大地震発生帯掘削
@南海・東北・コスタリカ
坂口有人
地鋳教室連携・山口大大学院理工学研究科

巨大地震発生域まで掘削し、どんな物質が、どのような環境にあって、何が起きているのかを直接確かめたい。そのためにプレート沈み込み帯の地震発生帯掘削計画が、南海トラフ、日本海溝、コスタリカ沖、において進行している。これらの計画は、震源断層への超深度掘削だけではなく、震源システム全体を把握するための浅部掘削も含まれるため、各計画がそれぞれ数多くの掘削航海から構成される巨大で複雑なプロジェクトである。本講演では、各計画の状況と、ここまでのトピックスを紹介し、全体として何を目指そうとしているのかを議論したい。

1月8日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室